



予期しない妊娠への 相談対応研修（基礎編）

～現場で役立つ知識を学ぶ～

主催：北海道
共催：一般社団法人
全国妊娠SOSネットワーク

児童虐待の背景の一つに、予期しない妊娠があります。北海道では、妊娠葛藤を抱える方を早期に把握し、必要な支援につなげ、妊娠や子育てに対しての不安感、孤立感等に対応していくことが、児童虐待の未然防止において重要な取り組みであると考えています。

本研修では、予期しない妊娠に悩む方への相談対応のスキル、相談者が抱える背景や課題、支援に活用できる福祉制度などを学び、実際の支援場面で活かすことができるよう次のとおり開催します。

日 時：令和3年11月5日（金）

9：30～16：30（9:00開場）

場 所：自治労会館 4階ホール（札幌市北区北6条西7丁目5-3）

対象者：妊娠に関する相談従事者（保健師、助産師、児童福祉担当者等）

<その他>

- 遅刻や早退は原則禁止です。終了後に受講証をお渡しします。
- 昼食は各自でご用意ください。会場での飲食は可能です。ゴミはお持ち帰りください。
- 研修では、妊娠SOS相談対応ガイドブックを使用します。お持ちでない方は、当日会場で購入可能です（テキスト代：1,000円）
- 本研修は、アドバンス助産師（ウイメンズヘルスケア:WHC）更新申請のWHC研修（予期せぬ妊娠をした女性の支援：6時間）として認められます。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用・手指消毒等のご協力をお願いします。

—研修内容・講師—

- ▶ 「妊娠sos相談が求められる背景と現状」～子育て世代包括支援センターの展開をふまえて～
佐藤 拓代 氏（全国sosネットワーク代表理事）
公益社団法人母子保健推進会議会長、医師
- ▶ 「予期しない妊娠をした女性への質の高い相談対応」
松岡 典子 氏（全国妊娠sosネットワーク理事）
MCサポートセンターみつくみえ代表、助産師
- ▶ 「相談者の背景とその支援」「育てられない女性と子どもの福祉」
赤尾 さく美 氏（全国妊娠sosネットワーク理事）
一般社団法人ベアホープ理事、助産師
- ▶ 「母子生活支援施設の役割と可能性」
中澤 香織 氏（札幌大谷大学短期大学部 保育課 教授）
社会福祉法人旭川隣保会 母子生活支援施設「旭川隣保会トキワの森」非常勤相談員

